

《履修上の留意事項》 面接授業のみ実施

《担当者名》教授／細矢 明宏 教授／入江 一元
 助教／建部 廣明 助教／渋谷 徹 助教／高橋 昌己
 非常勤講師／小林 秀樹 非常勤講師／西 一幸

【概 要】

人体を構成する諸器官の構造を理解するために、組織標本を光学顕微鏡で観察し、それらをスケッチすることにより各組織の構造を学ぶ。

【学習目標】

- ☆ 上皮組織の構造を説明する。
- ☆ 結合組織の細胞および線維成分を説明する。
- ☆ 軟骨組織を分類し、特徴を説明する。
- ☆ 骨組織の構造および構成する細胞を説明する。
- ☆ 血液細胞を説明する。
- ☆ 動脈と静脈の構造を説明する。
- ☆ 神経組織の構造を説明する。
- ☆ 骨格筋、心筋、平滑筋の構造を説明する。
- ☆ 消化器系器官の構造を説明する。
- ☆ 呼吸器系器官、泌尿器系器官、リンパ性器官の構造を説明する。
- ☆ 生殖器系器官、内分泌器系器官、皮膚の構造を説明する。
- ☆ 歯の研磨標本で見られる構造を説明する。
- ☆ 歯髄および歯周組織の構造を説明する。
- ☆ 歯の形成過程を説明する。
- ☆ 唾液腺の構造を説明する。
- ☆ 舌の構造を説明する。
- ☆ 顎関節の構造を説明する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1) 2	◎＜組織学実習について＞ 1. 実習開始にあたっての注意事項 2. 顕微鏡の使用法 ◎＜上皮組織-1＞	● 実習のやり方、注意事項について理解する。 ● 顕微鏡の使用法を理解する。 ● 上皮組織を形態学的に分類し、機能との関連について理解する。 ○ 「入門組織学」 P.29-P.44 (C-2-3)-(1)-(①)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己
3) 4	◎＜上皮組織-2＞	● 外分泌腺の構造を理解する。 ○ 「入門組織学」 P.29-P.44 (C-2-3)-(1)-(③)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己
5) 6	◎＜支持組織-1＞ 1. 結合組織 2. 軟骨組織	● 結合組織を構成する細胞と基質を理解する。 ● 軟骨組織を形態学的に分類し、その特徴について理解する。 ○ 「入門組織学」 P.45-P.61 (C-2-3)-(1)-(④,⑤)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己
7) 8	◎＜支持組織-2＞ 3. 骨組織	● 骨の構造と構成する細胞を理解する。 ● 骨の発生様式を理解する。 ○ 「入門組織学」 P.61-67 (C-2-3)-(1)-(⑥,⑦)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己
9) 10	◎＜神経組織＞ ◎＜筋組織＞	● 神経細胞と神経膠細胞の構造を理解する。 ● 筋組織を分類し、その特徴を理解する。 ○ 「入門組織学」 P.69-P.101 (C-2-3)-(1)-(⑧、C-2-3)-(5)-(⑦)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
			高橋 昌己
11) 12	◎＜血液・血管＞	● 血球細胞を分類し、その特徴と機能を理解する。 ● 血管の構造を理解する。 ○ 「入門組織学」 P.104-P.131 (C-2-3)-(3)-③、C-2-3)-(11)-②,③)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己
13) 14	◎＜消化器系＞ 1. 胃 2. 大腸 3. 肝臓 4. 膵臓	● 消化器官の構造を理解する。 ○ 「入門組織学」 P.147-P.198 (C-2-3)-(6)-①,②,③)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己
15) 16	◎＜呼吸器系＞ 1. 気管 2. 肺 ◎＜泌尿器系＞ 1. 腎臓 ◎＜リンパ性器官＞ 1. リンパ節	● 呼吸器官の構造を理解する。 ● 泌尿器官の構造を理解する。 ● リンパ性器官の構造を理解する。 ○ 「入門組織学」 P.134-P.146, P.199-P.226 (C-2-3)-(7)-①,②、C-2-3)-(9)-①、C-2-3)-(11)-①)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己
17) 18	◎＜生殖系＞ 1. 精巣 2. 卵巣 ◎＜内分泌系＞ 1. 甲状腺 2. 上皮小体 ◎＜皮膚＞ 1. 手指	● 生殖器官の構造を理解する。 ● 内分泌器官の構造を理解する。 ● 皮膚の構造を理解する。 ○ 「入門組織学」 P.227-P.317 (C-2-3)-(1)-②、C-2-3)-(8)-①、C-2-3)-(10)-①)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己
19) 20	◎＜歯の研磨標本＞ 1. エナメル質 2. 象牙質 3. セメント質	● 研磨標本作製法を説明する。 ● エナメル質にみられる構造を理解する。 ● 研磨標本で象牙質とセメント質にみられる構造を理解する。 ○ 「口腔組織・発生学」 P.38-P.110, P.141-P.149 (E-3-1)-(3)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己 西 一幸
21) 22	◎＜歯と歯周組織＞ 1. 象牙質 2. 歯髄 3. 歯周組織	● 象牙質と歯髄の構造を理解する。 ● 歯周組織（セメント質、歯根膜、歯槽骨、歯肉）の構造を理解する。 ○ 「口腔組織・発生学」 P.79-P.186 (E-3-1)-(3,④,⑤)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己 西 一幸
23) 24	◎＜歯の発生＞ 1. 歯冠形成 2. 歯根形成	● 歯冠形成（蕾状期、帽状期、鐘状期）を理解する。 ● 歯根形成を理解する。 ○ 「口腔の発生と組織」 P.41-P.63 (E-3-1)-(1)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己 小林 秀樹
25) 26	◎＜唾液腺＞	● 大唾液腺（耳下腺、顎下腺、舌下腺）の構造を理解する。 ● 小唾液腺の構造を理解する。。 ○ 「口腔組織・発生学」 P.270-P.282 (E-2-2)-(5)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己 小林 秀樹
27) 28	◎＜舌＞ ◎＜顎関節＞	● 舌乳頭と味蕾を理解する。 ● 顎関節の構造を理解する。 ○ 「口腔組織・発生学」 P.237-P.263, P.282-P.289 (E-3-1)-(1,⑤)	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明 渋谷 徹 高橋 昌己
29) 30	◎＜組織学実習のまとめ＞	● 全身の組織構造について復習、総括する。	細矢 明宏 入江 一元 建部 廣明

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
			渋井 徹 高橋 昌己

【評価方法】

- ◇〔組織学・発生学（実習）評価方法〕実習試験（80％）、スケッチおよびレポート（20％）
- ・〔組織学・発生学（講義）評価方法〕前期定期試験（40％）、後期中間試験（20％）、後期定期試験（40％）
- ・〔判定法〕講義と実習を合わせて評価し、60点以上を合格とする。

【備 考】

教科書 ：「入門組織学」改訂第2版 牛木 辰夫 著 南山堂
「口腔組織・発生学」第2版 脇田 稔、前田 健康、中村 浩彰、網塚 憲生（編）医歯薬出版
「口腔の発生と組織」改訂4版 田畑 純 南山堂

参考書 ：「カラーアトラス口腔組織発生学」第4版 磯川 桂太郎、下田 信治、山本 仁（編）わかば出版

その他 ：該当する講義で使用した教科書、講義ノート、配布プリントを持ってくること。
色鉛筆を用意すること。

【学習の準備】

- ☆ 講義内容について、授業前に教科書の該当部分で予習する(45分)。
- ☆ 実習時に作成したスケッチと配布されたプリントを復習し、教科書を用いて疑問点を再確認する(45分)。

【ディプロマポリシー（学位授与方針との関連）】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を習得するために必要な知識を組織学の観点から修得する（専門的実践能力）。

【実務経験】

細矢 明宏（歯科医師）、入江 一元（歯科医師）、建部 廣明（歯科医師）、渋井 徹（歯科医師）、高橋 昌己（歯科医師）、小林 秀樹（歯科医師）、西 一幸（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師としての実務経験をもとに、臨床に活きる講義を実践している。